

新版 数学の世界1

年間指導計画案

(学校での授業と、学校の授業以外の場で行う学習活動の併用版)

本資料は、令和2年度用教科書「新版 数学の世界1」及び「移行用補助教材2020年度第1学年用」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において行う学習活動を併用して指導いただく場合の年間指導計画案を示したものです。

学校の授業以外の場において行う学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定して示した一例ですので、地域や学校の状況に合わせて、適宜、調整していただくなどしてご活用ください。

【本資料作成にあたっての考え方・指導上の留意】

- ・教師と生徒との関わり合い、また、生徒どうしの関わり合いを大切にしたい学習活動は、これまでと同様におもに授業で行うことを想定しています。
- ・指導計画は、1時間(50分授業)の単位で作成しています。
- ・学校の授業以外の場において行う学習活動としては、おもに、
 - ア)学習内容の見直しをもつ導入の場面
 - イ)学習内容のふり返りや練習の場面を選定しています。なお、イ)においては、ノートの点検などを通して、つまづきが見られる場合は、わからない箇所を特定し、個別に支援するなどの配慮が必要と考えられます。
- ・無理なく着実に学習を保障することに配慮し、様々な取組を行った上で、なお年度当初予定していた内容の指導を年度内に終えることが困難である場合の特例的な対応として、内容の一部を次年度の指導で扱うことも考えられます。ただし、本資料では、年度末の学習内容を次年度の指導で扱うことを前提としているわけではありません。

第1学年 年間指導計画案

年間指導時数 115時間+(予備時数25時間)

学校の授業 98時間

学校の授業以外の場での学習 17時間

・青字:2020年度 追加内容

・打ち消し線:2020年度 削除内容

平常時における指導時期を示しています。

3 学期 制	2 学期 制	月	章・節・項	教科書ページ	配当時数 (そのうち 授業が必要 な時数)	主な指導内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
1 学期	前期	4 月	1章 正の数, 負の数	p.9~58	[23] < 20 >		
			1節 正の数, 負の数	p.10~17	(4) < 4 >		
			1 プラスとマイナス	p.10, 11	1 < 1 >	・記号+, -を使って表された数量	予習でp.10の?に取り組み, 授業では予習をもとに話し合いをする。
			2 反対向きの性質をもった数量	p.12, 13	1 < 1 >	・反対向きの性質をもった数量の表し方	予習でp.12の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。
			3 正の数と負の数	p.14, 15	1 < 1 >	・正の数, 負の数の意味/自然数/数直線上の点で表すこと	予習でp.14の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。
			4 数の大小	p.16, 17	1 < 1 >	・正の数, 負の数の大小関係/絶対値の意味	予習でp.16の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。
			2節 加法, 減法	p.18~33	(8) < 7 >		
			1 加法	p.18, 19	1 < 1 >	・正の数, 負の数の加法	予習でp.18-19の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。
			2 加法の規則	p.20, 21	1 < 1 >	・加法の規則	
			3 加法と法則	p.22, 23	1 < 1 >	・加法の交換法則, 結合法則/いくつかの数の和の計算	予習でp.22の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。
	5 月	4 減法	p.24, 25	1 < 1 >	・正の数, 負の数の減法	予習でp.24の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。	
		5 減法の規則	p.26, 27	1 < 1 >	・減法の規則/減法の規則を使ったいろいろな計算	予習でp.26の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。	
		6 加法と減法の混じった式の計算— [1]	p.28, 29	1 < 1 >	・式における項の考え方	予習でp.28の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。	
		7 加法と減法の混じった式の計算— [2]	p.30, 31	1 < 1 >	・代数和の形による計算		
		◎練習	p.32, 33	1 < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】	
		3節 乗法, 除法	p.34~51	(9) < 8 >			
		1 乗法	p.34, 35	1 < 1 >	・正の数, 負の数の乗法	予習でp.34-35の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。	
		2 乗法の規則	p.36, 37	1 < 1 >	・乗法の規則		
		3 いくつかの数の積	p.38, 39	1 < 1 >	・乗法の交換法則, 結合法則/いくつかの数の積の計算	予習でp.38の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。	
		4 累乗の計算	p.40, 41	1 < 1 >	・累乗の意味/累乗の表し方と計算	予習でp.40の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。	
5 除法	p.42, 43	1 < 1 >	・除法の規則	予習でp.42の?に取り組み, 学習内容の見直しをもつ。			

3 学期 制	2 学期 制	月	章・節・項	教科書ページ	配当時数 (そのうち 授業が必要 な時数)	主な指導内容	学校の授業以外の場 での学習が可能と考え られる学習活動
		6 月	6 乗法と除法の混じった式の計算	p.44, 45	1 < 1 >	・逆数の意味／乗除の混じった式の計算	
	7 四則の混じった式の計算		p.46, 47	1 < 1 >	・四則混合計算／分配法則	予習でp.46の?に取り組み、学習内容の見直しをもつ。	
	8 数のひろがりや四則		p.48, 49	1 < 1 >	・数の拡張／数の集合と四則計算の可能性		
	◎練習		p.50, 51	1 < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】	
	4節 正の数、負の数の利用		p.52, 53	(1) < 1 >			
	1 正の数、負の数の利用		p.52, 53	1 < 1 >	・正の数、負の数を使って身のまわりの問題を考えたり説明したりする		
	1章の問題		p.54, 55	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】	
	いろいろな問題・考えてみよう		p.56	(-)			
	挑戦しよう		p.57	(-)	・数のブロックを積み上げると		
	社会にリンク		p.58	(-)	・プラス・マイナスで伝えたい 気温の変化と季節感		
	●素数の積		移行用補助教材 p.2~5	[2] < 2 >			
	1 素因数分解		移行用補助教材 p.2, 3	1 < 1 >	・素数、素因数の意味／素因数分解すること／素因数分解した式から数を倍数としてとらえること	予習で移行用補助教材p.2の?に取り組み、学習内容の見直しをもつ。	
	2 素因数分解の利用／◎練習		移行用補助教材 p.4, 5	1 < 1 >	・素因数分解を使って最大公約数や最小公倍数を求めること	予習で移行用補助教材p.4の?に取り組み、学習内容の見直しをもつ。	
	2章 文字と式		p.59~92	[16] < 13 >			
	1節 文字と式		p.60~75	(8) < 7 >			
	1 文字を使った式		p.60, 61	1 < 1 >	・文字を使った式の意味	予習でp.60の?に取り組み、授業では予習をもとに話し合いをする。	
	2 数量を表す式		p.62, 63	1 < 1 >	・数量を文字を使った式で表すこと		
	3 式を書くときの約束— [1]		p.64, 65	1 < 1 >	・文字を使った式の積の表し方	予習でp.64の?に取り組み、学習内容の見直しをもつ。	
	4 式を書くときの約束— [2]		p.66, 67	1 < 1 >	・文字を使った式の商の表し方／約束にしたがった式の表し方	予習でp.66の?に取り組み、学習内容の見直しをもつ。	
	5 式による数量の表し方		p.68, 69	1 < 1 >	・約束にしたがっていろいろな数量を式で表すこと		
	6 式の表す意味	p.70, 71	1 < 1 >	・式が表している数量や数の意味			
	7 式の値	p.72, 73	1 < 1 >	・文字の値、式の値の意味とその求め方	予習でp.72の?に取り組み、授業では予習をもとに話し合いをする。		
	◎練習	p.74, 75	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】		

3 学期 制	2 学期 制	月	章・節・項	教科書ページ	配当時数 (そのうち 授業が必要 な時数)	主な指導内容	学校の授業以外の場 での学習が可能と考えら れる学習活動		
		7 月	2節 式の計算	p.76~85	(5) < 4 >				
			1 1次式とその項	p.76, 77	1 < 1 >	・ 項, 係数, 1次式の意味/簡単な1次式の計算	予習でp.76の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。		
			2 1次式と数との乗法	p.78, 79	1 < 1 >	・ 1次式と数との乗法	予習でp.78の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。		
			3 1次式を数でわる除法	p.80, 81	1 < 1 >	・ 1次式を数でわる除法	予習でp.80の?に取り組む。学習内容の見通しをもつ。		
			4 1次式の加法, 減法	p.82, 83	1 < 1 >	・ 1次式の加法, 減法/いろいろな1次式の計算	予習でp.82の?に取り組む。学習内容の見通しをもつ。		
			◎練習	p.84, 85	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】		
			3節 文字と式の利用	p.86, 87	(1) < 1 >				
			1 文字を使った式の利用	p.86, 87	1 < 1 >	・ 文字式を利用して説明すること			
			4節 関係を表す式	p.88, 89	(1) < 1 >				
			1 等式と不等式	p.88, 89	1 < 1 >	・ 等式, 不等式の意味/等式, 不等式を用いた表現や読み取り	予習でp.88の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。		
			2章の問題	p.90, 91	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】		
			いろいろな問題・考えてみよう	p.92	(-)				
			研究をしよう	p.93	(-)				
			レポートを書こう	p.94	(-)				
		2 学期		9 月	3章 1次方程式	p.95~120	[12] < 10 >		
					1節 方程式	p.96~99	(2) < 2 >		
					1 方程式とその解	p.96, 97	1 < 1 >	・ 方程式とその解の意味	予習でp.96の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
					2 等式の性質	p.98, 99	1 < 1 >	・ 等式の性質とそれを使った方程式の同値変形	予習でp.98の?に取り組む。学習内容の見通しをもつ。
					2節 1次方程式の解き方	p.100~111	(6) < 5 >		
					1 等式の性質を使った方程式の解き方	p.100, 101	1 < 1 >	・ 等式の性質を使って簡単な1次方程式を解くこと	予習でp.100の?に取り組む。学習内容の見通しをもつ。
2 1次方程式の解き方	p.102, 103				1 < 1 >	・ 移項の意味/移項による方程式の解き方/1次方程式の意味			
3 かっこや小数をふくむ1次方程式の解き方	p.104, 105				1 < 1 >	・ かっこのある方程式, 係数に小数がある方程式の解き方			
4 分数をふくむ1次方程式の解き方	p.106, 107				1 < 1 >	・ 係数に分数がある方程式の解き方			
5 比例式とその解き方	p.108, 109				1 < 1 >	・ 比例式の意味/比の性質/簡単な比例式の解き方	予習でp.108の?に取り組む。学習内容の見通しをもつ。		
◎練習	p.110, 101	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】					

3 学期 制	2 学期 制	月	章・節・項	教科書ページ	配当時間 〈そのうち 授業が必要 な時間〉	主な指導内容	学校の授業以外の場 での学習が可能と考えら れる学習活動
		10	3節 1次方程式の利用	p.112~117	(3) 〈 3 〉		
	後 期	月	1 1次方程式を使った問題の解き方	p.112, 113	1 〈 1 〉	・方程式を使って問題を解決するための考え方と手順	予習でp.112の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			2 速さの問題と1次方程式	p.114, 115	1 〈 1 〉	・速さや道のりの問題を方程式を使って解くこと	
			3 解の意味	p.116, 117	1 〈 1 〉	・問題の条件を考え、解の意味を解釈して問題に答えること	
			3章の問題	p.118, 119	(1) 〈 0 〉		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】
			いろいろな問題・考えてみよう	p.120	(-)		
			4章 量の変化と比例、反比例	p.121~158	[17] 〈 15 〉		
			1節 量の変化	p.122~125	(2) 〈 2 〉		
			1 ともなって変わる2つの量	p.122, 123	1 〈 1 〉	・ともなって変わる2つの数量の関係／関数の意味	予習でp.122の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			2 2つの数量の関係の調べ方	p.124, 125	1 〈 1 〉	・変数や変域の意味／変域の表し方	
			2節 比例	p.125~139	(7) 〈 7 〉		
			1 比例— [1]	p.126, 127	1 〈 1 〉	・比例の意味／負の範囲までふくめた比例の定義とその特徴	予習でp.126の?に取り組む。学習内容の見直しをもつ。
			2 比例— [2]	p.128, 129	1 〈 1 〉	・比例定数が負の場合の比例関係	予習でp.128の?に取り組む。学習内容の見直しをもつ。
			3 座標	p.130, 131	1 〈 1 〉	・座標の意味／点の位置の表し方	予習でp.130の?に取り組む。学習内容の見直しをもつ。
			4 比例のグラフ— [1]	p.132, 133	1 〈 1 〉	・比例定数が正の場合の比例のグラフ	予習でp.132の?に取り組む。学習内容の見直しをもつ。
			5 比例のグラフ— [2]	p.134, 135	1 〈 1 〉	・比例定数が負の場合の比例のグラフ	
			6 比例のグラフのかき方	p.136, 137	1 〈 1 〉	・比例のグラフのかき方	予習でp.136の?に取り組む。学習内容の見直しをもつ。
			7 比例の式の求め方	p.138, 139	1 〈 1 〉	・比例の関係を表す式の求め方／グラフから比例の式を求める方法	予習でp.138の?に取り組む。学習内容の見直しをもつ。
	11	月	3節 反比例	p.140~149	(5) 〈 4 〉		
	1 反比例		p.140, 141	1 〈 1 〉	・反比例の意味／反比例の定義とその特徴	予習でp.140の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。	
	2 反比例のグラフ— [1]		p.142, 143	1 〈 1 〉	・比例定数が正の場合の反比例のグラフ		
	3 反比例のグラフ— [2]		p.144, 145	1 〈 1 〉	・比例定数が負の場合の反比例のグラフ		
	4 反比例の式の求め方		p.146, 147	1 〈 1 〉	・反比例の関係を表す式の求め方／グラフから反比例の式を求める方法	予習でp.146の?に取り組む。学習内容の見直しをもつ。	
	◎練習		p.148, 149	(1) 〈 0 〉		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】	
	4節 関数の利用		p.150~153	(2) 〈 2 〉			
	1 身のまわりの問題への利用	p.150, 151	1 〈 1 〉	・身のまわりの事象への表、グラフ、式の利用			

3 学期 制	2 学期 制	月	章・節・項	教科書ページ	配当時数 (そのうち 授業が必要 な時数)	主な指導内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
			2 図形への利用	p.152, 153	1 < 1 >	・ 図形の問題への比例, 反比例の考え方の利用	
			4章の問題	p.154, 155	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】
			いろいろな問題・考えてみよう	p.156	(-)		
			挑戦しよう	p.157	(-)	・ 模型自動車の走行実験	
			社会にリンク	p.158	(-)	・ 声に出して言ってみよう 関数の考え方ってすごい!	
			5章 平面の図形	p.159~192	[15] < 12 >		
			1節 平面図形とその調べ方	p.160~167	(4) < 4 >		
			1 直線, 半直線, 線分	p.160, 161	1 < 1 >	・ 直線, 半直線, 線分の意味	予習でp.160の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			2 点と点との距離	p.162, 163	1 < 1 >	・ 2点間の距離/円の弧, 弦の意味	
			3 平面上の2直線	p.164, 165	1 < 1 >	・ 2直線の位置関係/2直線がつくる角	
			4 点と直線, 円と直線	p.166, 167	1 < 1 >	・ 点と直線との距離/円と直線との位置関係	予習でp.166の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
		12月	2節 図形の移動	p.168~175	(4) < 3 >		
			1 いろいろな移動	p.168, 169	1 < 1 >	・ 移動/平行移動, 回転移動, 対称移動の意味	予習でp.168の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			2 移動させた図形ともとの図形	p.170, 171	1 < 1 >	・ 平行移動, 回転移動, 対称移動させた図形の性質	
			3 図形の移動	p.172, 173	1 < 1 >	・ 平行移動, 回転移動, 対称移動は図形の移動の基本であること	
			◎練習	p.174, 175	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】
			3節 図形と作図	p.176~185	(5) < 4 >		
			1 条件を満たす点の集合	p.176, 177	1 < 1 >	・ 条件を満たす点の集合	予習でp.176の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			2 線分の垂直二等分線	p.178, 179	1 < 1 >	・ 2点から等しい距離にある点の集合/線分の垂直二等分線の作図	予習でp.178の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			3 角の二等分線	p.180, 181	1 < 1 >	・ 2直線から等しい距離にある点の集合/角の二等分線の作図	予習でp.180の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			4 いろいろな作図	p.182, 183	1 < 1 >	・ 垂線の作図/円の接線の作図	予習でp.182の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			◎練習	p.184, 185	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】
3 学期		1月	4節 移動と作図の利用	p.186, 187	(1) < 1 >		
			1 移動と作図の利用	p.186, 187	1 < 1 >	・ 移動や作図を活用し, 身のまわりの問題を解決すること	
			5章の問題	p.188, 189	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】
			いろいろな問題・考えてみよう	p.190	(-)		

3 学 期 制	2 学 期 制	月	章・節・項	教科書ページ	配当時間 (そのうち 授業が必要 な時間)	主な指導内容	学校の授業以外の場 での学習が可能と考えら れる学習活動
			もっと数学! (発展) 三角形の3 つの頂点を通る円	p.191	(一)	・ 三角形の外接円	
			もっと数学! (発展) 三角形の3 つの辺に接する円	p.192	(一)	・ 三角形の内接円	
			6章 空間の図形	p.193~236	[19] < 16 >		
			1節 立体とその調べ方	p.194~207	(7) < 6 >		
			1 いろいろな立体	p.194, 195	1 < 1 >	・ 立体の分類/多面体/正角柱	予習でp.194の?に取り 組む。授業では予習を もとに話し合いをする。
			2 角すい, 円すい	p.196, 197	1 < 1 >	・ 角すいと円すいの特徴	予習でp.196の?に取り 組む。授業では予習を もとに話し合いをする。
			3 角すい, 円すいの展開図	p.198, 199	1 < 1 >	・ 角すいと円すいの展開図/おうぎ 形	
			4 特別な多面体	p.200, 201	1 < 1 >	・ 正多面体の特徴	
			5 立体の投影	p.202, 203	1 < 1 >	・ 立体の投影図/投影図を使って立 体の特徴を調べる	予習でp.202の?に取り 組み, 学習内容の見通 しをもつ。
			6 動かしてできる立体	p.204, 205	1 < 1 >	・ 図形を線や面の動いた跡としてと らえること/図形を回転させてでき る立体	予習でp.204の?に取り 組み, 学習内容の見通 しをもつ。
			◎練習	p.206, 207	(1) < 0 >		学校の授業以外の場 での学習で取り組む。わ からない問題があれば 特定する。【1時間】
		2 月	2節 空間にある図形	p.208~213	(3) < 3 >		
			1 平面の決定	p.208, 209	1 < 1 >	・ 空間における平面, 直線, 点の関 係/平面の決定条件	予習でp.208の?に取り 組み, 学習内容の見通 しをもつ。
			2 直線, 平面の位置関係	p.210, 211	1 < 1 >	・ 空間にある直線や平面の位置関係	
			3 空間における垂直と距離	p.212, 213	1 < 1 >	・ 直線と平面との垂直/点と平面と の距離/2つの平面の位置関係	予習でp.212の?に取り 組み, 学習内容の見通 しをもつ。
			3節 立体の体積と表面積	p.214~227	(7) < 6 >		
			1 角柱, 円柱の体積	p.214, 215	1 < 1 >	・ 角柱と円柱の体積の求め方/円周 率 π	予習でp.214の?に取り 組み, 学習内容の見通 しをもつ。
			2 角すい, 円すいの体積	p.216, 217	1 < 1 >	・ 角すいと円すいの体積の求め方	予習でp.216の?に取り 組み, 学習内容の見通 しをもつ。
			3 角柱, 円柱, 角すいの表面積	p.218, 219	1 < 1 >	・ 角柱, 円柱, 角すいの表面積の求 め方	予習でp.218の?に取り 組み, 学習内容の見通 しをもつ。
			4 円すいの側面積	p.220, 221	1 < 1 >	・ おうぎ形の弧の長さや面積の求め 方	予習でp.220の?に取り 組み, 学習内容の見通 しをもつ。
			5 円すいの表面積	p.222, 223	1 < 1 >	・ 円すいの表面積の求め方	
			6 球の表面積と体積	p.224, 225	1 < 1 >	・ 球の表面積と体積の求め方	
			◎練習	p.226, 227	(1) < 0 >		学校の授業以外の場 での学習で取り組む。わ からない問題があれば 特定する。【1時間】
			4節 図形の性質の利用	p.228, 229	(1) < 1 >		
			1 図形の性質の利用	p.228, 229	1 < 1 >	・ 空間にある図形の性質を活用して 問題を解決すること	

3 学期制	2 学期制	月	章・節・項	教科書ページ	配当時間 (そのうち 授業が必要な 時間数)	主な指導内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動
			6章の問題	p.230, 231	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】
			いろいろな問題・考えてみよう	p.232	(-)		
			挑戦しよう	p.233	(-)	・積み木を通す穴の形	
			もっと数学! (発展) 立体を平面で切ると…	p.234, 235	(-)	・立体の切断	
			社会にリンク	p.236	(-)	・設計図から木材を組み家が できる 数学も大工の道具の一つ	
		3	7章 資料の整理と活用	p.237~260	[11] < 10 >		
		月	1節 資料の収集と整理	p.238~251	(7) < 7 >		
			1 近似値	p.238, 239	1	近似値/誤差と有効数字の意味/有効数字を用いた近似値の表し方	
			2 度数分布	p.240, 241	1 < 1 >	・度数分布表の必要性和意味	予習でp.240の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			3 ヒストグラムと度数分布多角形	p.242, 243	1 < 1 >	・ヒストグラムや度数分布多角形の必要性和意味	
			4 相対度数	p.244, 245	1 < 1 >	・相対度数の必要性和意味/2つの資料の比較	予習でp.244の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			●累積度数と累積相対度数	移行用補助教材 p.6, 7	1 < 1 >	・累積度数, 累積相対度数の意味/累積度数や累積相対度数をグラフに表すこと	
			5 資料のちらばり	p.246, 247	1 < 1 >	・ちらばりの程度を数値で表すこと/範囲の必要性和意味	予習でp.246の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			6 資料の代表値— [1]	p.248, 249	1 < 1 >	・階級値, 代表値, 中央値の意味	
			7 資料の代表値— [2]	p.250, 251	1 < 1 >	・最頻値の意味/代表値の適切な使い方	
			2節 資料の活用	p.252, 253	(1) < 1 >		
			1 資料の傾向の調べ方	p.252, 253	1 < 1 >	・学習した内容を活用し, 資料の傾向をとらえ説明すること	予習でp.252の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			3節 データと確率	移行用補助教材 p.8~11	(2) < 2 >		
			1 起こりやすさ	移行用補助教材 p.8, 9	1 < 1 >	・相対度数に注目して, ことからの起こりやすさを調べる	予習で移行用補助教材 p.8の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			2 相対度数と確率	移行用補助教材 p.10, 11	1 < 1 >	・多数回試行における相対度数の変化と傾向/多数の観察や多数回試行によって得られる相対度数を確率と見ること	予習で移行用補助教材 p.10の?に取り組む。授業では予習をもとに話し合いをする。
			7章の問題	p.254, 255 移行用補助教材 p.12	(1) < 0 >		学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。【1時間】
			いろいろな問題・考えてみよう	p.256	(-)		
			コンピュータを使って資料を整理しよう	p.257~259	(-)	・コンピュータを使った資料の並べ替え, 度数分布表やヒストグラムの	
			社会にリンク	p.260	(-)	・野球のデータ分析に生きる 情報を正しく読むチカラ	
			Mathful (マスフル)	p.261~280	(-)		
			小学校の復習	p.282~287	(-)		
			まとめの問題	p.288~291	(-)		